

環境目標：学びを実践し未来へつなげる北野中学校 ～自然との触れ合いと環境保全～

①. 取り組んだ活動内容を箇条書きで記入してください。（必須）

<地球温暖化防止・エネルギー>

活動内容
・生徒会・環境委員・教職員協働の省エネ 生徒に未使用教室の扇風機、照明の消灯や、水道使用量を意識させ省エネを進めている。
・PTA・教職員協働の省エネ 教員は、裏紙再利用、会議や日報のペーパーレス化等によりエコ意識を高めている。また、PTAとともに家庭向けの手紙（広報含む）はtetoruにて電子配信をし、資源、労力を抑えている。
・自然体験学習 エコライフを意識し、地球規模の環境保全につなげることをねらいに、2年生が富士山の麓の大自然の中で1泊2日の宿泊学習を実施した。洞窟探検、樹海ハイキング、湖畔でのキャンプファイヤー等の体験学習で自然や環境問題への興味関心や行動化への意欲が向上した。
・3年総合にて国際理解及びSDGs学習

<資源循環>

活動内容
・生徒会委員会活動 年2回の地域清掃 所沢市「環境の日」に合わせて、全校生徒が登校時に通学路を中心にゴミを拾いの地域清掃を行った。
・PTAまつり（リサイクル）、除草作業 PTA主催で生徒、保護者、後援会、教員が協力し除草や樹木の剪定作業を実施した。11月にはリサイクル活動としてバザーを実施した。卒業生や家庭地域からの献品数が増え、エコ活動に盛んになっている。
・3年総合にて国際理解及びSDGs学習

<みどり・生物多様性>

活動内容
・学校農園 農業体験活動を通して、生命や自然環境食物などに対する関心・意欲や理解を深めさせ、豊かな心や生きる力を身につけることをねらいとし、学校運営協議会（CS）を中心に後援会やPTAの協力を得て野菜作りに取り組んだ。特別支援学級では、たくさんの種類の野菜を作り、販売学習にて北野小の児童や来校する保護者に販売した。この活動は生徒が土に親しむとともに食育の一端を担った。
・3年総合にて国際理解及びSDGs学習

②. ①のうち最も力を入れた取り組みについて、詳しく記述してください。(必須)

<記述欄>

力を入れている環境活動

【活動名】『〇〇きたの』プロジェクト（学校が地域の学びのプラットフォームに）
～いつでも、どこでも、誰でも、安心して～子供を中心に、持続可能な取り組みを

【ゼロカーボンシティ実現に向けた工夫】

令和5年度より所沢市の学校運営協議会（CS）モデル校として選出され、上記の活動名をもとに実践している。副題にあるように子供を中心に持続可能な取り組みを実践するため、子供のボランティア経験不足、地域の希薄化、教職員の負担軽減等の課題を学校農園の運営を通じて解決する。

【活動内容】

1 主体性をもった組織運営及び連携体制

(1) 協議会による熟議

年3回の会議において、学校や地域の実態を念頭に置き課題を解決するための方策や地域を担うべく子供像等について熟議を行う。

(2) ノベルティグッズ作成・配布

ノベルティグッズの元となるロゴマークのデザインを美術部の生徒に依頼し、25点から小学生と中学生、保護者、教職員、地域の皆様からの投票503票から2点を選出。3校ともに全校朝会で発表した。現在、タペストリーや横断幕、缶バッジ等を作成中。

2 課題解決のための方策（小中連携を基本に持続可能な活動）

(1) 学校農園

後援会の方に指導を依頼し、協議会や生徒、教職員、保護者の方々と共に、じゃがいもと落花生を作成。

(2) ボランティア等協力者の依頼（同窓生ボランティア）

1月に行われた『二十歳の集い』において卒業生に下にあるチラシで募集を呼びかけた。農園の手伝いの他、デザインの勉強をしている学生がじゃがいものラベルを作成してくれる等、得意分野で活躍している。

3 家庭や外部機関とのやりとり

(1) 配布

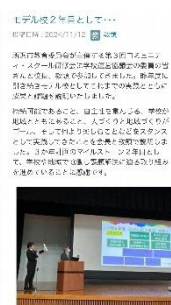
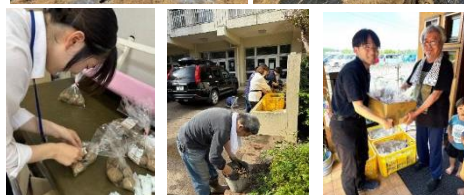
収穫した野菜を近隣保育園や子ども食堂に無償配布をし、活用していただいた。

4 効果の検証と進捗状況等の情報発信

(1) CS便り発行・HP掲載

<https://tokorozawa-kitano-jhs.edumap.jp/>

(2) アンケート調査の実施（学校評価）



成 果

（１）学校として

- ①学校・家庭・地域の中心的機能として機能や役割を果たしたか
- ②幼保小中高を中心に関係機関との協力体制の構築
- ③人々の Agency（主体性）を活かし、ウェルビーイングな学校・地域の形成

（２）生徒の立場として

- ①学校生活や活動を通じて自己肯定感の高揚
- ②ボランティア経験や体験活動を通じての知識・技能の習得及び人間関係の醸成
- ③「北野の地を、人を、歴史を愛せる」環境づくりを通じた郷土愛の醸成